

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 9月 2日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 北 村 美 佳

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年10月 2日 午前 9時00分から 令和 8年10月 9日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年10月16日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年11月 6日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 8年10月19日 午前 9時00分から 令和 8年10月20日 午後 4時30分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 株式会社商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 9月 2日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	3, 790, 000 3, 032, 000	一括	758, 000	102, 623	0
1	2, 510, 000				
2	1, 280, 000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-----|---------------|
| 1 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡 |
| | 地 番 | 21番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1267.88平方メートル |
-
- | | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| 2 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡21番地2 |
| | 家屋 番号 | 21番2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 132.93平方メートル
2階 44.30平方メートル |
- (現況)
- | | | |
|--|-------|---------------------------------|
| | 床 面 積 | 1階 132.93平方メートル
2階 約50平方メートル |
|--|-------|---------------------------------|



物 件 明 細 書

令和 8年 6月11日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 北 村 美 佳

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

【物件番号1】

本件土地の一部につき、売却対象外の①建物(家屋番号21番)及び②未登記建物(種類:物置、構造:木造瓦葺平家建、床面積:約24平方メートル)のために法定地上権が成立する。

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

本件土地分筆前の土地上に現存しない建物(家屋番号21番の3)の登記が存在する。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません(訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります)。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。



- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | | |
|---|-----|---------------|--|
| 1 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡 | |
| | 地 番 | 21番2 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 1267.88平方メートル | |
-
- | | | | |
|---|-------|--------------------|--------------|
| 2 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡21番地2 | |
| | 家屋 番号 | 21番2 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 | |
| | 床 面 積 | 1階 | 132.93平方メートル |
| | | 2階 | 44.30平方メートル |
- (現況)
- | | | | |
|--|-------|----|--------------|
| | 床 面 積 | 1階 | 132.93平方メートル |
| | | 2階 | 約50平方メートル |



令和 7 年（ケ）第 106 号
令和 8 年 2 月 25 日受理
令和 8 年 4 月 20 日提出
（評価人 塚本修一）

現況調査報告書

水戸地方裁判所

執行官 粉 川 宗 尚

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡 |
| | 地 番 | 21番2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1267.88平方メートル |
| 2 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡21番地2 |
| | 家屋 番号 | 21番2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 132.93平方メートル
2階 44.30平方メートル |



不 動 産 の 表 示		「物件目録」のとおり	
住 居 表 示		☒ （住居表示未実施） ☐	
土 地		物件 1	
現 況 地 目	☒ 宅地（物件 ） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件土地上に下記建物及び目的外建物を所有し、占有している。 ☐ 物件 の土地は公衆用道路として使用されている。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物 （目的外建物）	☐ ない ☒ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
そ の 他 の 事 項			
建 物		物件 2	
種類、構造及び 床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である。 ☒ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物）。 ☐ 種 類： ☐ 構 造： ☒ 床面積：2階部分 約 50 m ²		
物件目録にない 附 属 建 物	☒ ない ☐ ある 種 類： 構 造： 床面積：		
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地 （目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
そ の 他 の 事 項	1. 震災の影響により外壁の亀裂等が生じており、室内のクロスやボードにも亀裂が生じている箇所がある。 2. 内玄関（写真番号 5）により土地建物位置関係図目的外建物①と往来が可能となっているが、前記内玄関の存在がなかったとしても本件建物は施錠できる扉を有し、建物の独立性が保てるだけでなく固有の玄関も備えている（他方で目的外建物にはそれらが無い）。そうした点を考慮し、内玄関部分の帰属を前記目的外建物①と認定した。		
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係		☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

（注） チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
（ 2 枚目 ）

目的外建物の概況 (物件 2 関係)		
1	所 在	北茨城市関南町神岡下字福岡
	家 屋 番 号	☐ ない (未登記) ☒ 21 番
	種 類	☒ 居宅 ☐ 店舗 ☐ 共同住宅 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☐
	構 造	木造瓦葺平家建
	床面積 (概略)	約 94 m ²
	所 有 者	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 () ☐ 不明
	建 築 時 期	☒ 昭和 54 年 12 月 3 日頃 ☐ 不明
	建 築 者	☐ 現所有者 ☒ その他の者 (B) ☐ 不明
そ の 他 の 事 項		
2	所 在	北茨城市関南町神岡下字福岡
	家 屋 番 号	☒ ない (未登記) ☐
	種 類	☐ 居宅 ☐ 店舗 ☐ 共同住宅 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☒ 物置
	構 造	木造瓦葺平家建
	床面積 (概略)	約 24 m ²
	所 有 者	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 () ☐ 不明
	建 築 時 期	☒ 平成 5 年 月 日頃 (A の陳述による。) ☐ 不明
	建 築 者	☐ 現所有者 ☒ その他の者 (B) ☐ 不明
そ の 他 の 事 項		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳述内容等
A (本件所有者)	1 本物件に（は）、 (1) 所有者が使用（占有）しています。 (2) 新築以降の増改築はありません。 なお、2階の床面積が登記記録と一致しないのは、同階の物置の部分があるからだと思います。 しかしこれは建築当初から存在したもので、後から付け足したものではありません。 (3) 第三者の所有物はありません。 (4) 境界争い等隣地との紛争はありません。 (5) 本件建物は、震災の影響により外壁の亀裂等が生じているほか、玄関ドアの建付けが悪くなっているといった不具合があります。 なお、震災で屋根瓦も破損しましたが、修理済みですので雨漏り等はありません。 (6) 産廃の投棄・埋設や不自然死などの事件事故はありません。 2 目的外の建物は、全て私の父であるBが築造したのですが、相続によって全て私が相続し、現在所有しています。 【現地聴取要旨】

（注） チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
（ 4 枚目 ）

執行官の意見

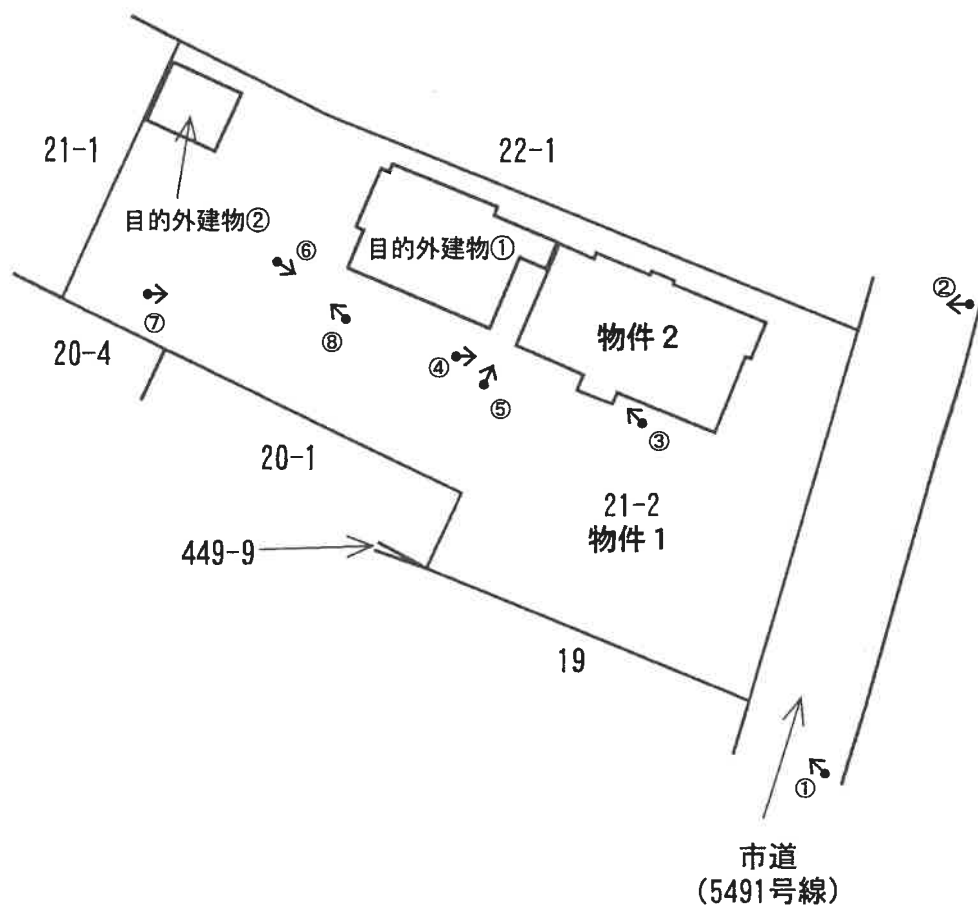
- 1 本件における各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付した写真のとおりである。
- 2 本件土地・建物の占有状況については、所有者の陳述及び上記現場の状況等を考慮して、2枚目記載のとおり認定した。

（注） チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
（5 枚目）

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年2月26日(木)	当 庁	役場（所）照会（照会書郵送）
令和8年3月11日(水)	当 庁	所有者照会（照会書郵送）
令和8年3月27日(金) 13:20-14:30	物件所在地	立入調査 占有調査 図面作成・写真撮影 ☐ 債務者・ ☒ 所有者・ ☐ から聴取 評価人同行
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
（特記事項） ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

（注） チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
（ 6 枚目 ）

土地建物位置関係図



※土地建物位置関係図は法務局備付の公図、建物図面、現況概測等に基づき作製したものであり、実際と異なる場合があります。



写真1



写真2



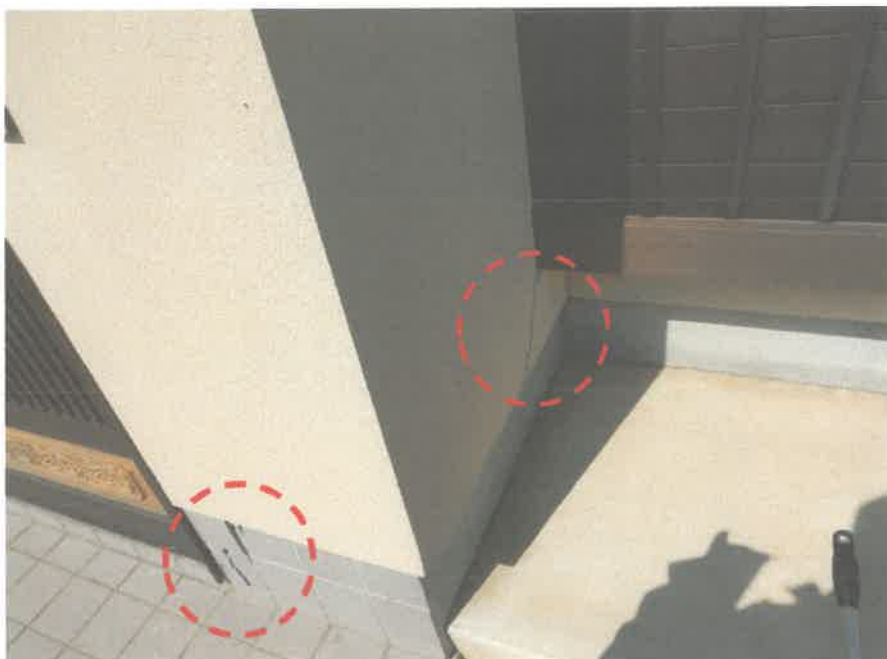


写真3

外壁の亀裂
等



写真4



写真5

内玄関部分



写真6

写真7



写真8



写真9



写真10



写真11



写真12



写真13



写真14



写真15



写真16



写真17



写真18



令和 7年（ケ）第 106号
令和 8年 2月25日 受 命
令和 8年 3月24日 現地調査
令和 8年 4月14日 評 価
令和 8年 4月15日 提 出

水戸地方裁判所民事部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
塚本 修一

第1 評価額

一 括 価 格	
金 3, 7 9 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金 2, 5 1 0, 0 0 0 円
物件2（建物）	金 1, 2 8 0, 0 0 0 円

- ① 一括価格は、物件1，2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の内訳価格は物件2及び目的外建物①②のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登 記	現 況
1	所在地 地目積	3 頁物件目録記載のとおり	
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	3 頁物件目録記載のとおり	1階 132.93m ² 2階 約50m ² 延床面積 約182.93m ²
特記事項			
登記上、21番地（物件1土地分筆前の土地）の所在で家屋番号「21番の3」の建物が存するが、物件1土地には現存していない。			

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡 |
| | 地 番 | 2 1 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 2 6 7. 8 8 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 北茨城市関南町神岡下字福岡 2 1 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 2 1 番 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 3 2. 9 3 平方メートル
2 階 4 4. 3 0 平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R常磐線「大津港」駅のほぼ南方・道路距離約2.2km 最寄バス停なし (附属資料「物件位置図」参照)															
付 近 の 状 況	市道沿いに画地規模の大きな一般住宅、農家住宅が建ち並ぶ住宅地域であり、農地、未利用地も見られる。															
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	都市計画区域内・非線引地域 用途地域の指定なし 指定 60% 指定 200% なし 大部分が文化財保護法による周知の埋蔵文化財包蔵地（仁井谷遺跡）の指定あり														
画 地 条 件	地 積：1,267.88㎡ 間 口：約27.2m 奥 行：約53～56m 形 状：やや不整形 地 勢：ほぼ平坦地 高 低 差：接面道路より約0～0.3m高い 接面道路との関係：中間画地 セットバック：なし															
接面道路の状況	南東側幅員約8m舗装市道（建築基準法第42条第1項道路に該当）															
土地の利用状況等	物件1土地は、物件2建物及び目的外建物①②の敷地として利用されており、庭石が10数個ある。尚、物件1土地は隣接21番1土地の一部と一体利用されている。 ※物件1土地のうち、物件2建物・目的外建物①②の敷地範囲を建築面積及び現況等より次のとおり査定した。 物件2建物の敷地範囲 物件1土地のうち約671.66㎡ 目的外建物①②の敷地範囲 物件1土地のうち約596.22㎡ ※目的外建物の概要は次のとおりである。 <table><tr><td>目的外建物①</td><td>目的外建物②</td></tr><tr><td>家屋番号：21番</td><td>未登記</td></tr><tr><td>種 類：居宅</td><td>物置</td></tr><tr><td>構 造：木造瓦葺平家建</td><td>木造瓦葺平家建</td></tr><tr><td>床 面 積：約94㎡</td><td>約24㎡</td></tr><tr><td>建築時期：昭和54年12月3日</td><td>平成5年頃</td></tr><tr><td>所 有 者：A</td><td>A</td></tr></table>		目的外建物①	目的外建物②	家屋番号：21番	未登記	種 類：居宅	物置	構 造：木造瓦葺平家建	木造瓦葺平家建	床 面 積：約94㎡	約24㎡	建築時期：昭和54年12月3日	平成5年頃	所 有 者：A	A
目的外建物①	目的外建物②															
家屋番号：21番	未登記															
種 類：居宅	物置															
構 造：木造瓦葺平家建	木造瓦葺平家建															
床 面 積：約94㎡	約24㎡															
建築時期：昭和54年12月3日	平成5年頃															
所 有 者：A	A															

供給処理施設	上水道 あり（引込済） ガス配管 なし（個別LPガスによる） 下水道 あり（公共柵設置済） （注）供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。
特記事項	特になし

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載)：平成6年9月15日 経過年数：31年 経済的残存耐用年数：満了 増築年月日(未登記)：建築当初から
仕 様	構造：木造 屋根：瓦 外壁：スタッコ吹付仕上げ 内壁：ビニールクロス貼、京壁 天井：ビニールクロス貼、化粧合板敷目貼 床：畳、フローリング、塩ビシート 設備：電気、給排水、衛生、換気
床面積（現況）	1階 132.93m ² 2階 約50m ² 合計 約182.93m ²
現況用途等	現況用途：居宅 間 取：附属資料「間取図」参照
品 等	普 通
保守管理の状態	普 通
建物の利用状況	物件2建物は、所有者が居宅として利用している。
特 記 事 項	○物件2建物は建築確認（214・平成5年10月7日）を受けているが、完了検査はなされていない。 ○物件2建物は目的外建物と接続し内部で行き来することが出来る。 ○外壁・犬走りに亀裂が少し、内壁（京壁・ビニールクロス）に亀裂が多く見られる。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1-1, 1-2 (土地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。尚、物件1土地のうち、物件2建物の敷地範囲を物件番号1-1、目的外建物①②の敷地範囲を物件番号1-2と以下表示した。

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1-1	11,700	0.700	671.66	0.90	4,950,000
1-2	11,700	0.700	596.22	0.90	4,390,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 北茨城-4

公示価格 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $14,800\text{円}/\text{㎡} \times 100.0/100 \times 100/102.0 \times 100/123.6 \approx 11,700\text{円}/\text{㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：画地条件(方位+2)

◇地域格差：街路条件▲1.0 交通・接近条件+4.0 環境条件+20.0

イ 個別格差：画地条件(規模▲20 間口・奥行の関係▲5 形状▲3) その他条件(埋蔵文化財包蔵地▲5)

ウ 地 積：登記数量を基に建築面積及び現況等により査定した数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 物件2 (建物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ
2	300,000	182.93	0.007	380,000

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：約182.93㎡

ウ 現 価 率：経過年数31年、経済的全耐用年数31年、経済的残存耐用年数0年、観察減価及び中古建物の市場性減価35%、残価率1%、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

・現価率＝[残価率1%＋(1-1%)×(経済的残存耐用年数0年/経済的全耐用年数31年)]×(1-観察減価35%)≈0.007

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、物件2建物については物件番号1-1の土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1-1	4,950,000	0.45	法定地上権	2,230,000
1-2	4,390,000	0.45	法定地上権	1,980,000

イ 土地利用権等割合：物件番号1-1の土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を45%と査定した。

物件番号1-2の土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を45%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1-1	4,950,000	-2,230,000		0.70	0.70	1,330,000
1-2	4,390,000	-1,980,000		0.70	0.70	1,180,000
2	380,000	+2,230,000		0.70	0.70	1,280,000
一括価格（合計）						3,790,000

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：目的外建物が存し一部底地であること、目的外建物と内部で接続していることから、需要が弱くかつ市場参加者も限定的であるため、市場性修正率を△30%と判定。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

※物件1（土地）の内訳価格＝物件番号1-1評価額＋物件番号1-2評価額
＝2,510,000円

第6 参考価格資料

地価公示価格（北茨城－4）

所 在：北茨城市大津町北町字浜道1480番2

価 格：14,800円/㎡

位 置：JR常磐線「大津港」駅の北方・道路距離1.3kmに位置する。

価 格 時 点：令和8年1月1日

地 積：274㎡

供給処理施設：水道、下水

接 面 街 路：東7m市道

用途指定等：都市計画区域内・非線引地域 用途地域の指定なし（建蔽率60％，容積率200％）

地域の概要：一般住宅中心の区画整然とした高台の住宅地域

第7 附属資料

- 1 物件位置図
- 2 周辺見取図
- 3 公図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取図

以 上



物件位置図

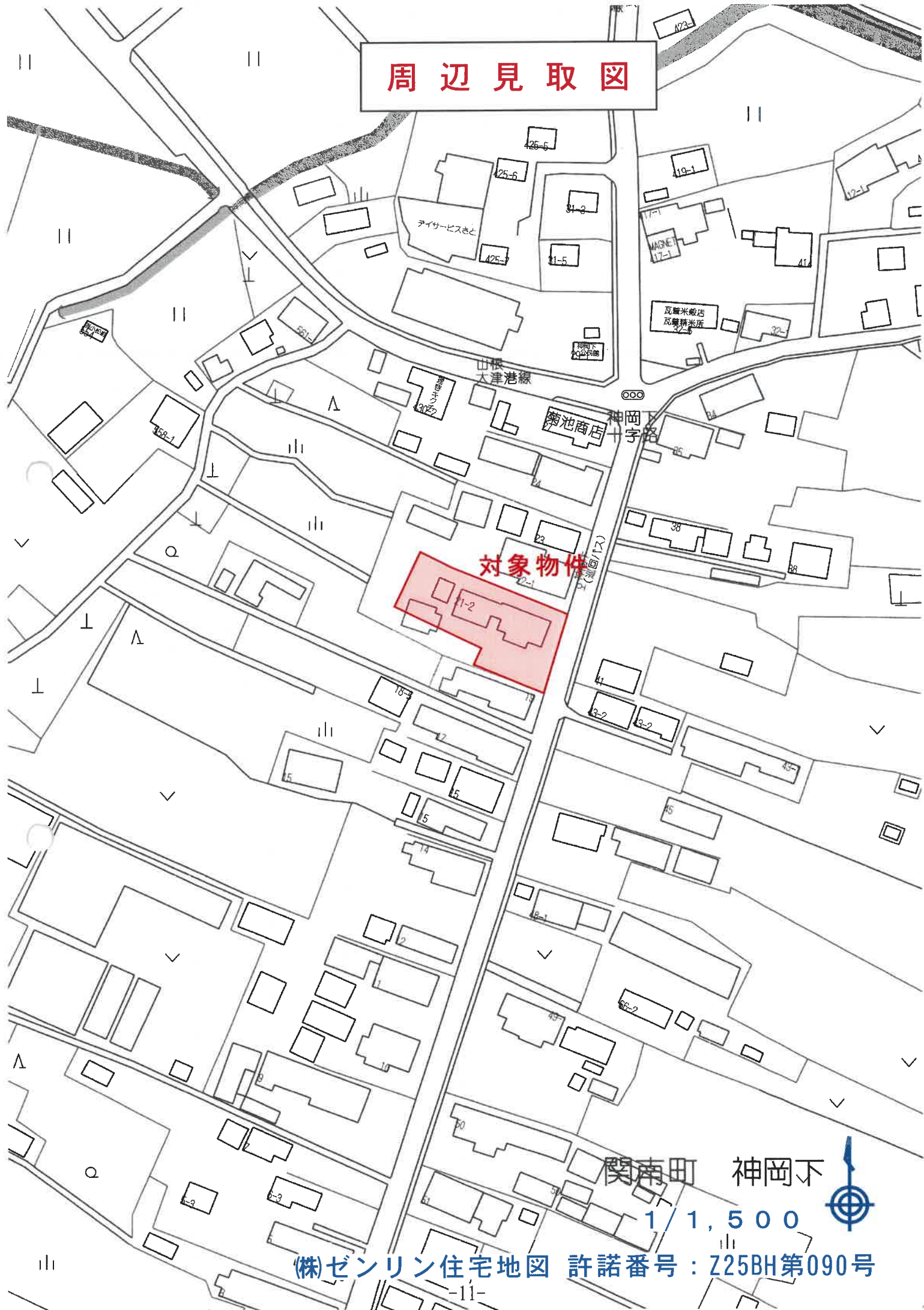
対象物件

公示地

1:15,000 相当

地図上の1センチは 約 150 メートル

周辺見取図



関南町 神岡下

1/1,500

(株)ゼンリン住宅地図 許諾番号：Z25BH第090号



値種別：測量成果)

※公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouoki2011.par)による修正がされています。

地番区

1 / 5 0 0

見出

南 岡 下

登記年月日：平成6年9月20日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

(水戸地方裁判所日立支部管轄)

令和7年6月26日 福島地方裁判所いわき支部

※ A3版をA4版に縮小

登記官

請求番号：14-3

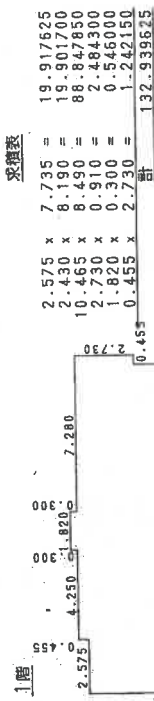
各階平面図

整理番号 907114

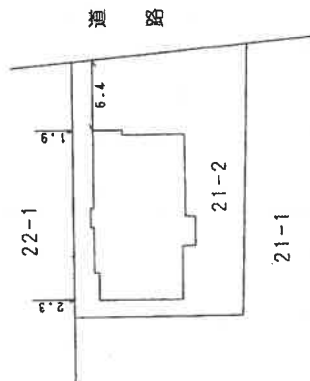
建物図面 各階平面図

家屋番号 21-2

建物の所在 北茨城市関南町神岡下字福岡21番地2



建物図面・各階平面図写



作製者

9月19日作製

縮尺 1/250

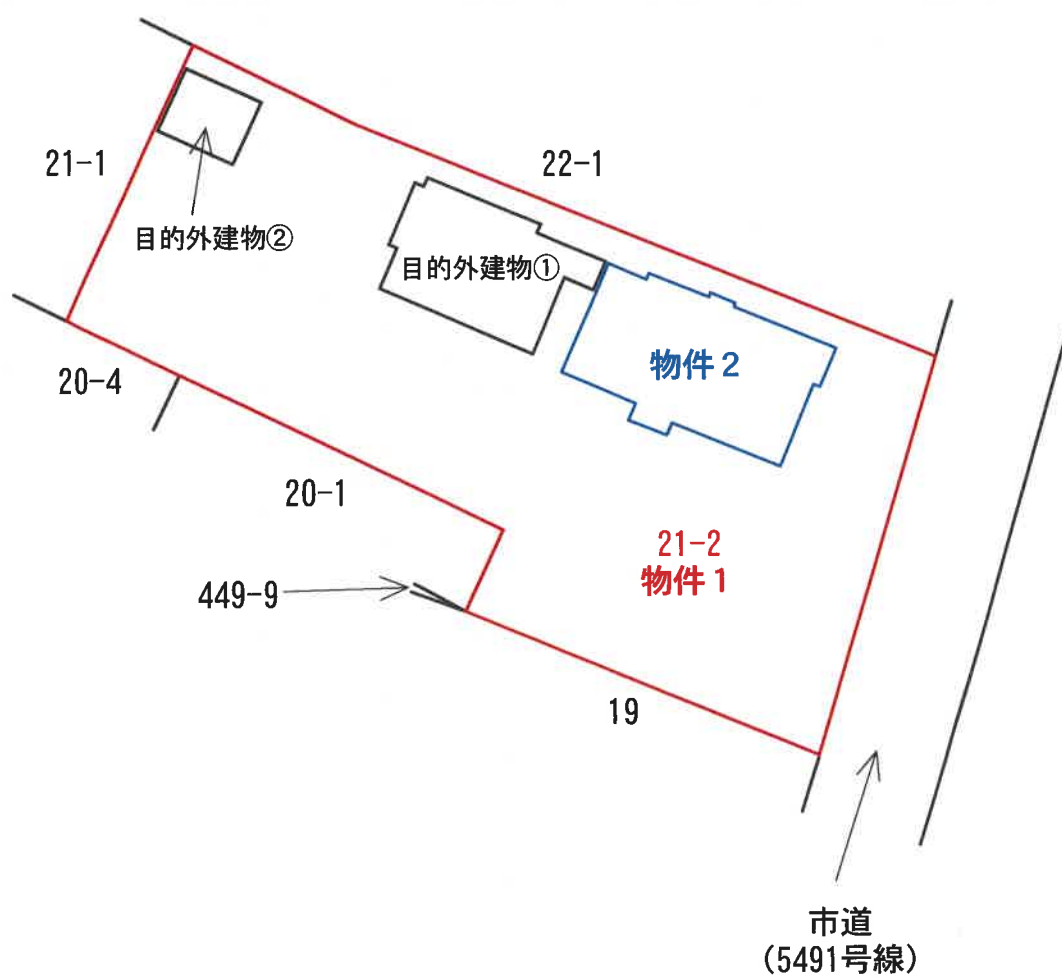
申請人

縮尺 1/500

(茨城市地家屋調査士会用品)

16.9.20

土地建物位置関係図



※土地建物位置関係図は法務局備付の公図、
建物図面、現況概測等に基づき作製したも
のであり、実際と異なる場合があります。



間 取 図

物件 2

(1 階)

目的外建物①
と接続



(2 階)

